

# 大きな節目となる成人式に向けて

## 〜新成人に聞きました〜

一月十三日に成人式が勤労福祉センター（エスペランス丸山）で開かれます。

成人式、新成人の集いを盛り上げるために集まった実行委員会のメンバーに、打ち合わせ会議の場で、思いを聞きました。



実行委員会メンバー

「来て良かったと思えるような式にしたい」

「二十歳を迎え、大人といわれる歳になった心境は

「実感がない」  
「まだ子ども」

「二十歳を迎えたからといって、そんな突然変化したことはない」

「以前よりは将来のことを具体的に考えるようになった」

「二分の一成人式を行ったのは十歳でした。二十歳になるまでの十年間はどうか」

「十歳のときは成人した自分を想像できなかったが、十年間は早かった」  
「小学生、中学生、高校生、大学生と立場がいろいろと変わり、出会いと別れの多い十年だった」

「先生や親などに『やらされている』ことよりも、自分で考えて決めることが多くなった」

「十年後の三十歳には、どんな感じになっていると思いますか」  
「学校の先生。自分は嫌いな教科が

「どんな式（新成人の集い）にしたいですか」

「みんなが楽しめる式にしたい」  
「記憶に残るものになりたい」

あったが、そんな嫌いな教科でも好きになるようにしたい」  
「保育士になって働いていたい」  
「結婚して『お母さん』になりたい」  
「管理栄養士。今はまた言われたことをこなしているだけだけど、十年後には仕事を任せてもらえるようにしっかりと落ち着きある大人になりたい」

今年成人式を迎えるのは、平成四年四月二日から平成五年四月一日までに生まれた皆さんです。阿久比町では、二百四十四人が対象になります。

実行委員会のメンバーは、十一月から準備を進め、訪れた皆さんが楽

### 新成人が生まれたときの出来事

平成4年4月	ユーロディズニーランド（現名称ディズニーランドパリ）が開園
	歌手の尾崎豊さんが死去
7月	山形新幹線が開業
	バルセロナ夏季五輪開催
9月	毛利衛さんがスペースシャトルで宇宙へ
	毎月第2土曜日を休業日とする月1回の学校週5日制がスタート
平成5年1月	ビル・クリントンがアメリカ合衆国大統領に就任
	大相撲の曙が外国人として初めて横綱に昇進



会議の様子

しいひとときを過ごせるためにと、何度も打ち合わせを重ねてきました。今回話を聞かせてくれたメンバーは、学生ばかりだったこともあり、二十歳を迎えても、大人のイメージが漠然としている印象でした。ただ、二十歳を迎えて、いきなり大人の自覚や責任が出てくるものでもないと思います。既に社会人となっている人でも、まだまだ子ども扱いを受けることも多いことでしょう。

実行委員長の開拓哉さんは「同窓会のように楽しめる会としたい」と語る一方で「成人式は大きな節目。ただ楽しいだけではなく、大人としての自覚を持って思い出に残る式にしたい」とも語ってくれました。

町の未来を担う新成人が多く参加し、盛り上がる式になることを期待します。